

適性検査Ⅱ

1

(1)

①	□ × □ × □ cm ³
②	<p>[求め方] (例)</p> <p>立方体の体積は、$288 \times \frac{3}{4} = 216$ (cm³)</p> <p>$6 \times 6 \times 6 = 216$より、立方体の一辺の長さは6cmである。</p> <p style="text-align: right;">答え 6 cm</p>

※

(2)

1 :	2
--------------	---

※

(3)

<p>[求め方] (例)</p> <p>図10の三角すいの展開図は、1辺の長さが10cmの正方形になる。</p> <p>また、直角三角形イエオと直角三角形ウエオは合同だから、</p> <p style="padding-left: 20px;">三角形イウエ</p> <p>= 展開図の正方形 - 直角二等辺三角形イウオ - 直角三角形イエオ × 2</p> <p>= $10 \times 10 - 5 \times 5 \div 2 - 5 \times 10 \div 2 \times 2$</p> <p>= $100 - 12.5 - 50$</p> <p>= 37.5 (cm²)</p> <p style="text-align: right;">答え 37.5 cm²</p>

※

(4)

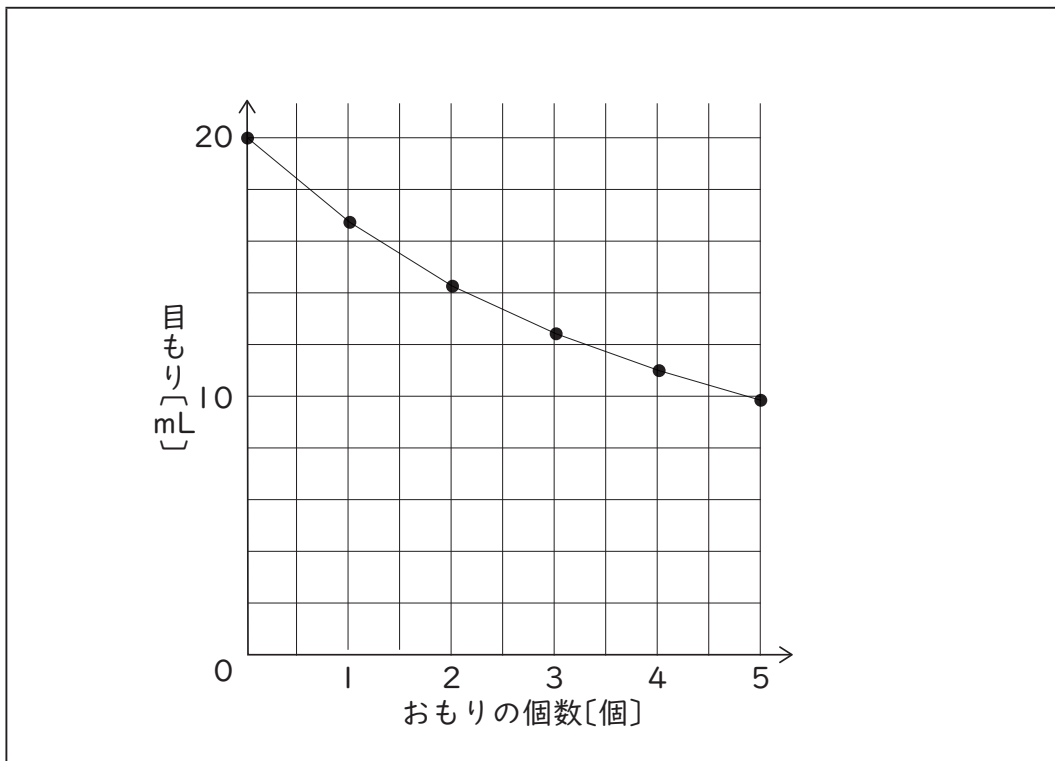
<p>[求め方] (例)</p> <p>底面の正方形 + 側面の二等辺三角形 × 4 + 断面の二等辺三角形 × 8</p> <p>= $10 \times 10 + 10 \times 10 \div 2 \times 4 + 37.5 \times 8$</p> <p>= $100 + 200 + 300$</p> <p>= 600 (cm²)</p> <p style="text-align: right;">答え 600 cm²</p>

※

適性検査Ⅱ

2

(1)



※

(2)

a	0.8	b	1.25	c	8	d	5	e	空気(大気)
---	-----	---	------	---	---	---	---	---	--------

※

(3)

①	氷点下 (マイナス)	288	°C
②	温度がこれより低くなると、体積が0mLよりも小さくなってしまふから。		

※

(4)

①	実験Ⅲの結果より、手早くおしこむと、ゆっくりおしこんだときよりも注射器の中の空気の温度は上がる。すると、実験Ⅱの結果より、同じ大きさの力が加わっていても空気の体積は大きくなると考えられるから、空気の体積は大きくなると予想できる。
②	発泡スチロールなど、熱を伝えにくいものでおおう。

※